

海風

UMIKAZE



Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



2016年新入職員歓迎会～オークラ千葉ホテル～

Contents

- 2.3P リハ科新入職員紹介
- 4P みなとリハの行事・院内旅行
- 5P みなとレポート
- 6P カンボジア研修
- 7P 入院患者様統計データ
- 8P 行事食



新入職員へひとこと



初代本因坊算砂が徳川家康に仕えたために、囲碁は江戸幕府に庇護されることになった。本因坊家、井上家、安井家、林家の四家元

は弟子を育てて切磋琢磨し、多くの名棋士が生まれた。明治時代以降、家元制は無くなったが日本棋院が棋士をかかえ、新聞社が賞金を出して棋戦を提供した。読売新聞は呉清源と藤沢朋斎の10番碁で部数を伸ばした。中国や韓国から棋士になるために日本に来る子供もいて、昭和後期までは日本の囲碁界が世界をリードしていた。そんな中、1985年から行われた日中スーパー囲碁は、両国のプロ棋士5名ずつによる勝ち抜き戦だったが、日本からもトッププロが参戦して下馬評は圧倒的有利と言われた。日本は4人目までをやすやすとかたづけるが、中国の主将、聶衛平の前にことごとく打ち取られた。くる年もくる年も聶の前に敗れ、中国は予想外の3年連続優勝を遂げた。聶衛平は中国最初のプロ棋士で、この活躍で「鉄のゴールキーパー」と恐れられた。

病院は開院して3年目に入った。勢いで突き進んできた2年を超え、困難も増えてくるだろう。前1世紀のローマの政治家アエミリウス・パウルスは友人たちから、「賢夫人で金持ちで匂うがごとく美しい奥方を離縁するとは何事だ」となじられた。すると彼は自分の履いている靴を差し出して「そうだ、この靴も見たとく美しい。それに新しい。だが、この靴のどこが足に当たって痛いか誰も知りやしない」と言ったそうだ(プルタルコス『モラリア』)鉄のゴールキーパーとして頑張ろう。

院長 片山 薫

リハビリテーション科 新入職員紹介



OT

作業療法士



小池 李奈



坂口 沙也加



佐々木 満里奈



永山 智瑛



香取 理桜



鹿子 紗紀



石田 茅乃



佐藤 遼



豊田 将太郎



金井 耀



大野 嵩



理学療法士



山口 翔平



小野 咲季



山崎 淳一郎



村坂 栄莉奈



田中 燦



言語聴覚士



元吉 恵梨



山縣 咲優美

がんばろぞ!!



係長からひとこと



皆さんのような、生き生きとしたエネルギーに満ち溢れている若者を迎えることができ、大変心強く思います。期待、緊張、不安、さまざまな思いを抱えているとは

思いますが、一日も早く職場に慣れ、思う存分、力を発揮して下さい。仕事を通じて自己を磨き、人間として大きく成長することを強く望みます。若いうちはとにかく何でも吸収できます。貪欲に、柔軟に、広い視野でいろんなことを学んでいってください。また皆さんの、新しい発想と若い感性で、先輩を大いに刺激してください。

患者様、ご家族様にとってより質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう、病院職員一丸となって頑張っていきたいと思います!

リハビリテーション科 係長 吉野 雄志

新入職員代表あいさつ



国家試験に無事合格し、このたび千葉みなとリハビリテーション病院にセラピストとして入職できたことを大変うれしく思います。入職式では社会人・医療従事者としての責任ある行動や心構えについて教えてもらい、今までは学生という立場で家族や学校に守られていたことに気づきました。またユニホームに着替え患者様の前に立つと実習とは比べものにならない緊張感がありました。これからは担当の患者様を受け持つことになるので責任感もち患者様やご家族様がより良い生活を送れるよう、知識・技術の向上に努めていき、思いやりや気遣いのできるセラピストになれるよう頑張りたいと思います。まだまだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

新入職員代表 リハビリテーション科 金井 耀

みなとリハの行事

スプリングコンサート

フルートの中島さんと、箏の伊東先生にお越しいただき、春らしい曲をご披露いただきました。気持ちが穏やかになる凛とした箏の音色、上品で、深みがあるフルートの音色とのハーモニーは、聞き慣れたメロディーにアレンジが加わり、曲の楽しみが広がります。

西洋楽器のフルートと、日本伝統楽器の箏という異色のコラボレーションを多くの患者様に楽しんで頂けた素敵なコンサートになりました。



ひな祭り

ひな祭りにちなんで患者様と一緒に雛寿司を作りました。ウズラの卵や海苔、薄焼き卵とハムを使い、とても可愛らしいお内裏様とお雛様を作りました。

愛くるしい表情の雛人形を見て、若くて可愛かった時代を思い出しながら、ひな祭りを楽しんでいました。



院内旅行

北海道満喫の旅～札幌編



SAPPORO



最高のパウダースノーを感じながら、大自然を満喫してきました。

国際大会が行われる有名な大倉山ジャンプ競技場。足が竦む高さのジャンプ台は圧巻で、展望台からの景色は最高でした。初めてのワカサギ釣りでは、餌を付けるのに戸惑い、せっかく釣れた魚に逃げられたりと散々でしたが、新鮮な

ワカサギの天ぷらは絶品!美味しい物をたくさん食べて、リフレッシュ出来ました。そして札幌といえば雪まつり、テレビで見たことがありましたが、雪像の迫力とクオリティにとっても感動しました!ただ、若干一名、俺にも作れそうと言っていたリハ職員も。。。ともあれ、大満足の院内旅行になりました。



Minato Report

感染対策勉強会

感染対策の目的として感染経路を遮断し、患者様や病院で働く職員を感染から守ることが重要になってきます。そのためには、感染源(病原体)を院内に持ち込まないこと、もし発生した場合は、感染源を持ち出さないようにし、広げないなどの標準予防措置策がととも重要となります。血液・体液・分泌物・嘔吐物・排泄物などを扱うときは、手袋を着用するとともに、マスクやエプロン・ガウンの着用が有効になりますので、ケアに使用した器具の洗浄・消毒、環境対策、リネンの消毒方法や正しい着脱方法などを再確認することができました。

日頃から感染予防に心掛け、院内感染ゼロを目指していきます。



接遇・マナー研修

新社会人にとってはまったく新しい世界に飛び込んで、右も左も分からないと困惑している人も多いのではないのでしょうか。講師の櫻井先生をお招きし、接遇・マナーについての講習会を行いました。「接」…ふれあう「遇」…もてなす(思いやりの心)接遇とは、思いやりの心を持って相手に接すること、そして接遇マナーの5原則「あいさつ・言葉使い・身だしなみ・表情や態度・気遣い」基本的な事ですが、それが大切ですと教えて頂きました。社会人は仕事でもプライベートも常に外から見られている意識を持つことが大切です。今日学んだことは、きっと長い人生で役に立つはず。これから一歩ずつ踏み出し、小さな課題を見つけ、解決しながら少しずつ成長してもらいたいです。千葉みなとリハ職員として医療従事者として胸を張って頑張ってください。



テレビ撮影協力をしました

TBS系”中居正広の金曜日のスマたちへ”の再現VTR撮影協力をしています。実は今回の撮影で4回目。やしきたかじんさん、大山のぶ代さん、中畑清さん、内藤やす子さんなどの著名人が、闘病生活を送りながら懸命にリハビリする姿などを忠実に再現。放映日は患者様やご家族様、私たち職員で、いつも馴染みのある病院風景が映るのを楽しみに見えています。番組のエンドロールには”千葉みなとリハビリテーション病院”の名前も出ています。今後も撮影協力していきますのでご興味ある方は当院ホームページブログや院内掲示板にてお知らせして参りますのでご覧くださいませ。



カンボジア研修に参加し感じたこと

リハビリテーション科
作業療法士 副主任 椎名 紗弥加

2016年1月29日～2月2日にカンボジア研修へ参加させていただきました。アンコール小児病院の視察、カンボジア



の人々の居住地の見学、アンコール遺跡の観光をさせていただき、カンボジアの環境、文化に触れてくることができました。カンボジアと言えば、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか？ひたたくりがいそう、不衛生そう、水道水で歯磨きしただけでお腹を下す、氷入りの飲み物もダメ、そして、地雷がまだにあるなどなどよくないイメージがあるのではないのでしょうか？実際に現地へつくと空港はキレイでホテルもキレイ。歯磨きも水道水で行えました。が、最後の最後に屋台で食べたかぼちゃのプリンで見事にあたってしまい、日本への帰国が危ぶまれるハプニングはありましたが、イメージしていたより大分栄えてきているようでした。

しかし、実際にカンボジアではいまだに地雷が埋まっている地区もあり、地雷博物館には撤去された多くの地雷や当時の義足が展示されていました。現在の日本においても義足調整が大変な中、ただの木や金属で見ただけでも痛そうな義足を使用していた時代があったことが衝撃でした。また、アンコール小児病院の視察においては、リハビリスタッフは1名で、遊具

などがありましたが、遊んでいる子はおらず、外で受診を待っている親子が多く、そのまま外で一夜を過ごすこともあるそうです。それもまた衝撃的でした。そして、現地の方が住む居住地は、高床式住居であり、子どもたちがハンモックで遊んでいたりと、台所と思われる外で食器の洗い物をしていたり、その流れる水を鶏が飲んでいてという環境。戦後の日本とはこのような感じだったのであるかといろいろな気持ちが沸き上がりました。そして、今後、カンボジアも発展していき、子供達が育っていくことができる期待とともに現在の日本では発展してきている状況の中で、自然がなくなり、子供達が外で遊び高齢者と一緒に過ごす時間がなくなってきている現状を省みていました。今後、私はどの世代もともにすごし、ともに支え合える環境をつくりたいという思いが強くなりました。

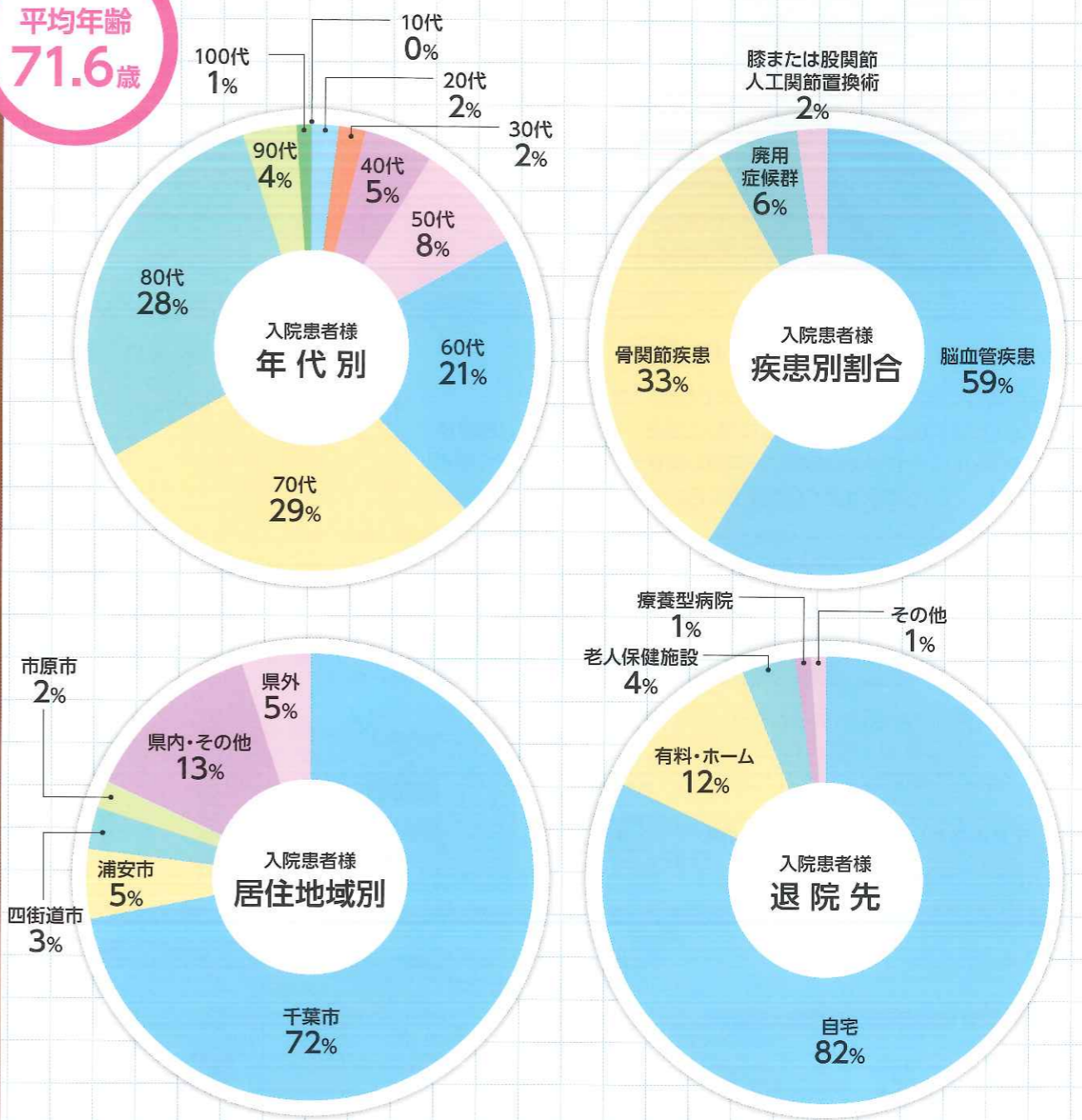
最後にカンボジアの魅力について、近年、カンボジアは海外旅行の人気が出てきているようです。世界遺産のアンコールワットは、一生に一度は見たい遺跡の数々であり、パワーを感じることでできる場所でした。是非、皆様もカンボジアで世界観を変える旅に出るはいかがでしょうか？その際、お水とかぼちゃのプリンにはお気をつけください！研修に参加させていただきましたありがとうございます。



入院患者様統計データ

平成27年10月～平成28年3月 患者数257名(再入院除く)

平均年齢
71.6歳



患者様1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者様の重症度割合	重症患者様改善率
8.7 単位	88.0日	41.2%	70.0%

※1単位=20分

日常生活自立度 (FIM)	入院時平均	退院時平均	利得平均 (回復度)
	71.0	94.7	23.7

在宅復帰率
93.9%
※急性期への転院除く

行事食

春をイメージした中華メニューを用意しました。

当院では月に一度、行事食を提供しています。今回は4月についてご紹介させていただきます。



- メニュー**
- ☆菜の花チャーハン
 - ☆エビチリ
 - ☆中華サラダ
 - ☆桜ロール



4月行事食の感想

- ◎とても美味しく頂きました。ごちそうさまでした。(患者様)
- ◎春ですね!ピンクがとても可愛らしいです、ごちそうさまでした。(患者様)
- ◎菜の花チャーハンを食べている時に一番良い笑顔が見れました。(介助者)
- ◎全粥のチャーハンも離水は全くなく安全に召し上がっていました。(看護師)

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UNIKAZE 風 Vol.08

平成28年6月発行

企画発行所 千葉みなとリハビリテーション病院 広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL : 043-245-1555 / FAX : 043-245-1558



電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩8分

バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「千葉みなとリハビリ病院下車」